

(別紙2)

平成27年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表 [平成28年9月]

施設名	総括表	
施設所管課	教育委員会事務局 体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954番地1
指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (55点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 本部：統括責任者 統括責任者補佐 事務員 市民体育館（本部） 支部：地区体育館 武道館・弓道場 東山公園管理センター 陸上競技場事務所 淀江運動公園事務所 各施設等巡視 計57名
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認 以下の研修を実施された。 4月 防災訓練 公園管理、遊具の日常点検講習 5月 接遇研修 防火管理者講習 7月 防犯研修、個人情報保護研修
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認 利用者数対前年比 105.9%
(2) 利用者の要望把握	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われている	B	資料確認

等	か		利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
II サービスの質の評価（25点）			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査

Ⅲ サービスの安定性の評価 (15点)			
1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2	B	資料確認
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3	B	資料確認
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4		経営状況分析については、後期に実施

【総評 (所管課評価)】 概ね良好な管理内容であり、事業計画に則り管理運営を行っている。	合計点 (55)点/(85)点 ×100=(64.7) 平均点 (3.2)点
---	--

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B (良好) = 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。(3点)

C (課題含) = 協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。(1点)

D (要改善) = 協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。(0点)

※特記事項欄は評価を行った確認方法 (例: 立入調査、台帳確認、資料等確認) と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	—	—	—	各施設の表に記載
施設利用者数	329,939人	310,959人	+18,980人 106.1 (%)	

※2 事業収支

(1) 収入

(単位: 千円)

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
指定管理料	96,739	97,488	-749 99.2 (%)	

(2) 支出

(単位: 千円)

項目	本年度〔平成26年4～3月〕 A	前年度〔平成26年4～3月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	59,501	53,397	-6,104 111.4 (%)	
管理運営費	37,238	44,091	-6,853 84.5 (%)	

(うち委託料)	4,645	4,095	+550 113.4 (%)	
合計	96,739	97,488	-749 99.2 (%)	

※3 経営状況分析指標

項目	本年度〔平成26年4～3月〕 A	前年度〔平成25年4～3月〕 B	対比 A-B、A/B	備考
①事業収支	0	0	—	
②利用料金比率	—	—	—	利用料金収入は市の収入としている
③人件費比率	61.5 (%)	54.8 (%)	+6.7ポイント	
④外部委託費比率	4.8 (%)	4.2 (%)	+0.6ポイント	
⑤利用者当たり管理コスト	293円	313円	-20円 93.6 (%)	
⑥利用者当たり自治体負担コスト	293円	313円	-20円 93.6 (%)	

①事業収支：(収入-支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていようかどうか確認する。赤字の場合は管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎているか、逆に費用がかかりすぎているかを確認する。

④外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4 団体等の経営状況(年度毎に実施)

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし。

6 利用者アンケートの結果

後期に実施予定

平成27年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表 [平成28年9月]

施設名	(1) 市民体育館	
施設所管課	教育委員会事務局 体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954番地1
指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
選定方法	公 募 ・ 非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (55点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 本部機能、東山体育館を含む 統括・補佐 各1名 管理人3名、事務員3名
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認 施設利用者数対前年比 79.8% 施設稼働率 100%
(2)利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。 第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2)清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認

II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査

III サービスの安定性の評価 (点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2		総括表に記載
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3		総括表に記載
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4		経営状況分析については、後期に実施

【総評 (所管課評価)】 概ね良好な管理内容であり、事業計画に則り管理運営を行っている。	合計点 (49) 点 / (75) 点 $\times 100 = (65.3)$ 平均点 (3.3) 点
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	108日	150日	-42日、72(%)	耐震診断による休館のため。
施設利用者数	15,358人	19,234人	-3,876人 79.8(%)	
施設稼働率＝ 利用日数／開館 日数	100% 108日／108日	100% 150日／150日	±0ポイント	
事業開催数	—	—	—	—

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	1,428,057円	1,216,795円	+211,262円 117.4(%)	

(2) 支出 **総括表に記載**

※3 経営状況分析指標 **総括表に記載**

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施） **総括表に記載**

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

総括表に添付

平成27年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表 [平成28年9月]

施設名	(2) 東山体育館	
施設所管課	教育委員会事務局 体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954番地1
指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (55点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 市民体育館管理者が兼務
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認 施設利用者数対前年比 127.9% 施設稼働率 100%
(2)利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、備品について、管理記録は適切に記録・保管されていた。
(2)清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		

5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認

II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査

III サービスの安定性の評価 (点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2		総括表に記載
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3		総括表に記載
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4		総括表に記載

【総評 (所管課評価)】 概ね良好な管理内容であり、事業計画に則り管理運営を行っている。	合計点 (49) 点 / (75) 点 × 100 = (65.3) 平均点 (3.3) 点
--	--

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B (良好) = 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。(3点)

C (課題含) = 協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。(1点)

D (要改善) = 協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。(0点)

※特記事項欄は評価を行った確認方法 (例: 立入調査、台帳確認、資料等確認) と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	147日	150日	-3日、98.0(%)	
施設利用者数	15,673人	12,255人	+3,418人 127.9(%)	実績増
施設稼働率＝ 利用日数／開館 日数	100% 147日／147日	100% 150日／150日	±0ポイント	
事業開催数	—	—	—	—

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	846,720円	524,050円	+322,670円 161.6(%)	実績増

(2) 支出 **総括表に記載**

※3 経営状況分析指標 **総括表に記載**

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施） **総括表に記載**

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし。

6 利用者アンケートの結果

総括表に添付

(別紙2)

平成27年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表 [平成28年9月]

施設名	(3) 住吉体育館	
施設所管課	教育委員会事務局 体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954番地1
指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
選定方法	公 募 ・ 非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (55点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人2人を配置
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認 施設利用者数対前年比 134.7% 施設稼働率 100%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。 第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取り組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認

II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査

III サービスの安定性の評価 (点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2		総括表に記載
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3		総括表に記載
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4		経営状況分析については、後期に実施

【総評 (所管課評価)】 概ね良好な管理内容であり、事業計画に則り管理運営を行っている。	合計点 (49) 点 / (75) 点 × 100 = (65.3) 平均点 (3.3) 点
--	--

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

- ※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)
 B (良好) = 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。(3点)
 C (課題含) = 協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。(1点)
 D (要改善) = 協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。(0点)

※特記事項欄は評価を行った確認方法(例: 立入調査、台帳確認、資料等確認)と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	148日	149日	-1日 99.3 (%)	
施設利用者数	11,717人	8,701人	+3,016人 134.7 (%)	実績増
施設稼働率= 利用日数/開館 日数	100% 148日/148日	100% 149日/149日	±0ポイント	
事業開催数	—	—	—	—

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	710,090円	517,650円	+192,440円 137.2 (%)	実績増

(2) 支出 **総括表に記載**

※3 経営状況分析指標 **総括表に記載**

※4 団体等の経営状況(年度毎に実施) **総括表に記載**

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

総括表に添付

平成27年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表 [平成28年9月]

施設名	(4) 加茂体育館	
施設所管課	教育委員会事務局 体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954番地1
指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (55点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人2人を配置
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認 利用者数対前年比 113.4% 施設稼働率 100%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。 第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取り組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認

II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査

III サービスの安定性の評価 (点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2		総括表に記載
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3		総括表に記載
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4		経営状況分析については、後期に実施

【総評 (所管課評価)】 概ね良好な管理内容であり、事業計画に則り管理運営を行っている。	合計点 (49) 点 / (75) 点 × 100 = (65.3) 平均点 (3.3) 点
--	--

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

- ※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)
 B (良好) = 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。(3点)
 C (課題含) = 協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。(1点)
 D (要改善) = 協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。(0点)

※特記事項欄は評価を行った確認方法(例: 立入調査、台帳確認、資料等確認)と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	148日	149日	-1日、99.3 (%)	
施設利用者数	12,022人	10,600人	+1,422人 113.4 (%)	
施設稼働率= 利用日数/開館 日数	100% 148日/148日	100% 149日/149日	±0ポイント	
事業開催数	—	—	—	—

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	768,330円	541,290円	+227,040人 141.9 (%)	実績増

(2) 支出 **総括表に記載**

※3 経営状況分析指標 **総括表に記載**

※4 団体等の経営状況(年度毎に実施) **総括表に記載**

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

総括表に添付

(別紙2)

平成27年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表 [平成28年9月]

施設名	(5) 南部体育館	
施設所管課	教育委員会事務局 体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954番地1
指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (55点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人2人を配置
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認 利用者数対前年比 99.7% 施設稼働率 100%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。 第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取り組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認

II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査

III サービスの安定性の評価 (点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2		総括表に記載
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3		総括表に記載
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4		経営状況分析については、後期に実施

【総評 (所管課評価)】 概ね良好な管理内容であり、事業計画に則り管理運営を行っている。	合計点 (49) 点 / (75) 点 × 100 = (65.3) 平均点 (3.3) 点
--	--

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

- ※評価区分 A（優良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）
 B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）
 C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）
 D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	148日	149日	-1日 99.3 (%)	
施設利用者数	7,693人	7,713人	-20人 99.7 (%)	
施設稼働率＝ 利用日数／開館 日数	100% 148日／148日	100% 149日／149日	±0ポイント	
事業開催数	—	—	—	—

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	667,120円	495,750円	+171,370円 134.6 (%)	実績増

(2) 支出 **総括表に記載**

※3 経営状況分析指標 **総括表に記載**

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施） **総括表に記載**

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

総括表に添付

(別紙2)

平成27年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表 [平成28年9月]

施設名	(6) 弓ヶ浜体育館	
施設所管課	教育委員会事務局 体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954番地1
指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (55点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人2人を配置
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認 利用者数対前年比 110.9% 施設稼働率 100%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。 第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	資料確認

II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査

III サービスの安定性の評価 (点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2		総括表に記載
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3		総括表に記載
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4		経営状況分析については、後期に実施

【総評 (所管課評価)】 概ね良好な管理内容であり、事業計画に則り管理運営を行っている。	合計点 (49) 点 / (75) 点 $\times 100 = (65.3)$ 平均点 (3.3) 点
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B（良 好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項 目	本年度〔平成27年4 ～9月〕 A	前年度〔平成26年 4～9月〕 B	対比 A－B、A/B	対比が±20%を超える場 合は増減理由を記載
開館日数	148日	149日	－1日 99.3 (%)	
施設利用者数	7,254人	6,540人	+714人 110.9 (%)	
施設稼働率＝ 利用日数／開館 日数	100% 148日／148日	100% 149日／149日	±0ポイント	
事業開催数	—	—	—	—

※2 事業収支

(1) 収 入

項 目	本年度〔平成27年4 ～9月〕 A	前年度〔平成26年4～ 9月〕 B	対比 A－B、A/B	対比が±20%を超える場 合は増減理由を記載
施設使用料	697,350円	562,770円	+134,580円 123.9 (%)	実績増

(2) 支 出 **総括表に記載**

※3 経営状況分析指標 **総括表に記載**

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施） **総括表に記載**

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

総括表に添付

(別紙2)

平成27年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表 [平成28年9月]

施設名	(7) 美保体育館	
施設所管課	教育委員会事務局 体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954番地1
指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
選定方法	公 募 ・ 非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (55点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人2人を配置
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認 施設利用者数対前年比 126.8% 施設稼働率 100%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。 第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認

II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査

III サービスの安定性の評価 (点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2		総括表に記載
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3		総括表に記載
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4		経営状況分析については、後期に実施

【総評 (所管課評価)】 概ね良好な管理内容であり、事業計画に則り管理運営を行っている。	合計点 (49) 点 / (75) 点 $\times 100 = (65.3)$ 平均点 (3.3) 点
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	148日	149日	-1日 99.3 (%)	
施設利用者数	8,983人	7,084人	+1,899人 126.8 (%)	実績増
施設稼働率＝ 利用日数／開館 日数	100% 148日／148日	100% 149日／149日	±0ポイント	
事業開催数	—	—	—	—

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	705,820円	451,970円	+253,850円 156.1 (%)	実績増

(2) 支出 **総括表に記載**

※3 経営状況分析指標 **総括表に記載**

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施） **総括表に記載**

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

総括表に添付

平成27年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表 [平成28年9月]

施設名	(8) 福米体育館	
施設所管課	教育委員会事務局 体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954番地1
指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (55点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人2人を配置
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認 利用者数対前年比 109.3% 施設稼働率 100%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。 第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認

II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査

III サービスの安定性の評価 (点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2		総括表に記載
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3		総括表に記載
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4		経営状況分析については、後期に実施

【総評 (所管課評価)】 概ね良好な管理内容であり、事業計画に則り管理運営を行っている。	合計点 (49) 点 / (75) 点 $\times 100 = (65.3)$ 平均点 (3.3) 点
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B（良 好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項 目	本年度〔平成27年4 ～9月〕 A	前年度〔平成26年 4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場 合は増減理由を記載
開館日数	148日	149日	-1日 99.3 (%)	
施設利用者数	9,420人	8,618人	+802人 109.3 (%)	
施設稼働率＝ 利用日数／開館 日数	100% 148日／148日	100% 149日／149日	±0ポイント	
事業開催数	—	—	—	—

※2 事業収支

(1) 収 入

項 目	本年度〔平成27年4 ～9月〕 A	前年度〔平成26年4～ 9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場 合は増減理由を記載
施設使用料	870,260円	584,140円	+286,120円 149 (%)	実績増

(2) 支 出 **総括表に記載**

※3 経営状況分析指標 **総括表に記載**

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施） **総括表に記載**

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

総括表に添付

(別紙2)

平成27年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表 [平成28年9月]

施設名	(9) 福生体育館	
施設所管課	教育委員会事務局 体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954番地1
指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (55点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人2人を配置
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認 施設利用者数対前年比 106.7% 施設稼働率 100%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。 第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認

II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査

III サービスの安定性の評価 (点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2		総括表に記載
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3		総括表に記載
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4		総括表に記載

【総評 (所管課評価)】 概ね良好な管理内容であり、事業計画に則り管理運営を行っている。	合計点 (49) 点 / (75) 点 $\times 100 = (65.3)$ 平均点 (3.3) 点
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	138日	149日	-11日 92.6 (%)	
施設利用者数	10,688人	10,016人	+672人 106.7 (%)	
施設稼働率＝ 利用日数／開館 日数	100% 138日／138日	100% 149日／149日	±0ポイント	
事業開催数	—	—	—	—

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	769,100円	596,610円	+172,490円 128.9 (%)	実績増

(2) 支出 **総括表に記載**

※3 経営状況分析指標 **総括表に記載**

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施） **総括表に記載**

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

総括表に添付

平成27年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表 [平成28年9月]

施設名	(10) 湊山体育館	
施設所管課	教育委員会事務局 体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954番地1
指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (55点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人2人を配置
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認 施設利用者数対前年比 101.9% 施設稼働率 100%
(2)利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。 第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2)清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認

II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査

III サービスの安定性の評価 (点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2		総括表に記載
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3		総括表に記載
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4		総括表に記載

【総評 (所管課評価)】 概ね良好な管理内容であり、事業計画に則り管理運営を行っている。	合計点 (49) 点 / (75) 点 $\times 100 = (65.3)$ 平均点 (3.3) 点
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	148日	149日	-1日 99.3 (%)	
施設利用者数	11,196人	10,992人	+204人 101.9 (%)	
施設稼働率＝ 利用日数／開館 日数	100% 148日／148日	100% 149日／149日	±0ポイント	
事業開催数	—	—	—	—

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	793,470円	541,420円	+252,050円 146.6 (%)	実績増

(2) 支出 **総括表に記載**

※3 経営状況分析指標 **総括表に記載**

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施） **総括表に記載**

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

総括表に添付

(別紙2)

平成27年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表 [平成28年9月]

施設名	(11) 箕蚊屋体育館	
施設所管課	教育委員会事務局 体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954番地1
指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (55点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人2人を配置
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認 施設利用者数対前年比 105.8% 施設稼働率 100%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。 第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認

II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査

III サービスの安定性の評価 (点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2		総括表に記載
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3		総括表に記載
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4		総括表に記載

【総評 (所管課評価)】 概ね良好な管理内容であり、事業計画に則り管理運営を行っている。	合計点 (49) 点 / (75) 点 $\times 100 = (65.3)$ 平均点 (3.3) 点
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	148日	149日	-1日 99.3 (%)	
施設利用者数	12,176人	11,506人	+607人 105.8 (%)	
施設稼働率＝ 利用日数／開館 日数	100% 148日／148日	100% 149日／149日	±0ポイント	
事業開催数	—	—	—	—

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	765,980円	582,870円	+183,110円 131.4 (%)	実績増

(2) 支出 **総括表に記載**

※3 経営状況分析指標 **総括表に記載**

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施） **総括表に記載**

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

総括表に添付

(別紙2)

平成27年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表 [平成28年9月]

施設名	(12) 米子市宮弓道場	
施設所管課	教育委員会事務局 体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954番地1
指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (55点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人2人を配置
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認 施設利用者数対前年比 119.8% 施設稼働率 100%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。 第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認

II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査

III サービスの安定性の評価 (点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2		総括表に記載
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3		総括表に記載
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4		総括表に記載

【総評 (所管課評価)】 概ね良好な管理内容であり、事業計画に則り管理運営を行っている。	合計点 (49) 点 / (75) 点 $\times 100 = (65.3)$ 平均点 (3.3) 点
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B（良 好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項 目	本年度〔平成27年4 ～9月〕 A	前年度〔平成26年 4～9月〕 B	対比 A－B、A/B	対比が±20%を超える場 合は増減理由を記載
開館日数	148日	149日	－1日 99.3 (%)	
施設利用者数	8,464人	7,066人	+1,398人 119.8 (%)	
施設稼働率＝ 利用日数／開館 日数	100% 148日／148日	100% 149日／149日	±0ポイント	
事業開催数	—	—	—	—

※2 事業収支

(1) 収 入

項 目	本年度〔平成27年4 ～9月〕 A	前年度〔平成26年4～ 9月〕 B	対比 A－B、A/B	対比が±20%を超える場 合は増減理由を記載
施設使用料	621,710円	304,090円	+317,620円 204.4 (%)	実績増

(2) 支 出 **総括表に記載**

※3 経営状況分析指標 **総括表に記載**

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施） **総括表に記載**

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

総括表に添付

(別紙2)

平成27年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表 [平成28年9月]

施設名	(13) 米子市営武道館	
施設所管課	教育委員会事務局 体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954番地1
指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (55点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人2人を配置
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認 施設利用者数対前年比 98.1% 施設稼働率 100%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。 第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認

II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査

III サービスの安定性の評価 (点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2		総括表に記載
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3		総括表に記載
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4		総括表に記載

【総評 (所管課評価)】 概ね良好な管理内容であり、事業計画に則り管理運営を行っている。	合計点 (49) 点 / (75) 点 $\times 100 = (65.3)$ 平均点 (3.3) 点
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	148日	149日	-1日 99.3 (%)	
施設利用者数	7,277人	7,419人	-142人 98.1 (%)	
施設稼働率＝ 利用日数／開館 日数	100% 148日／148日	100% 149日／149日	±0ポイント	
事業開催数	—	—	—	—

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	575,650円	381,940円	+193,710円 150.7 (%)	実績増

(2) 支出 **総括表に記載**

※3 経営状況分析指標 **総括表に記載**

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施） **総括表に記載**

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

総括表に添付

(別紙2)

平成27年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表 [平成28年9月]

施設名	(14) 米子市淀江体育館	
施設所管課	教育委員会事務局 体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954番地1
指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (55点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 淀江運動公園事務所 館長、管理人(3人)計4人
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認 施設利用者数対前年比 95.7% 施設稼働率 100%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。 第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認

II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査

III サービスの安定性の評価 (点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2		総括表に記載
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3		総括表に記載
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4		総括表に記載

【総評 (所管課評価)】 概ね良好な管理内容であり、事業計画に則り管理運営を行っている。	合計点 (49) 点 / (75) 点 $\times 100 = (65.3)$ 平均点 (3.3) 点
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	148日	149日	-1日 99.3 (%)	
施設利用者数	12,105人	12,652人	-547人 95.7 (%)	
施設稼働率＝ 利用日数／開館 日数	100% 148日／148日	100% 149日／149日	±0ポイント	
事業開催数	—	—	—	—

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	849,305円	598,280円	+251,025円 142 (%)	

(2) 支出 **総括表に記載**

※3 経営状況分析指標 **総括表に記載**

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施） **総括表に記載**

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

総括表に添付

平成27年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表 [平成28年9月]

施設名	(15) 米子市営淀江球場	
施設所管課	教育委員会事務局 体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954番地1
指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (55点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 淀江体育館勤務者が管理
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認 施設利用者数対前年比 94.5% 施設稼働率 69.7%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。 第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認

II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査

III サービスの安定性の評価 (点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2		総括表に記載
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3		総括表に記載
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4		総括表に記載

【総評 (所管課評価)】 概ね良好な管理内容であり、事業計画に則り管理運営を行っている。	合計点 (49) 点 / (75) 点 $\times 100 = (65.3)$ 平均点 (3.3) 点
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	155日	183日	-28日 84.7 (%)	
施設利用者数	6,834人	7,232人	-398人 94.5 (%)	
施設稼働率＝ 利用日数／開館 日数	69.7% 108日／155日	60.1% 110日／183日	+9.6ポイント	
事業開催数	—	—	—	—

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	1,378,140円	1,161,810円	+216,330円 118.6 (%)	

(2) 支出 **総括表に記載**

※3 経営状況分析指標 **総括表に記載**

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施） **総括表に記載**

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

総括表に添付

(別紙2)

平成27年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表 [平成28年9月]

施設名	(16) 米子市宮淀江庭球場	
施設所管課	教育委員会事務局 体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954番地1
指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (55点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 淀江体育館勤務者が管理
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認 施設利用者数対前年比 143.3% 施設稼働率 56.3%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。 第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認

II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査

III サービスの安定性の評価 (点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2		総括表に記載
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3		総括表に記載
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4		総括表に記載

【総評 (所管課評価)】 概ね良好な管理内容であり、事業計画に則り管理運営を行っている。	合計点 (49) 点 / (75) 点 $\times 100 = (65.3)$ 平均点 (3.3) 点
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優 良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	183日	183日	±0日 100 (%)	
施設利用者数	2,080人	1,451人	+629人 143.3 (%)	実績増
施設稼働率＝ 利用日数／開館 日数	56.3% 103日／183日	69.9% 128日／183日	-13.6ポイント	
事業開催数	—	—	—	—

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	0円	0円	±0円 100 (%)	個人使用のみ 使用料金なし

(2) 支出 **総括表に記載**

※3 経営状況分析指標 **総括表に記載**

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施） **総括表に記載**

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

総括表に添付

(別紙2)

平成27年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表 [平成28年9月]

施設名	(17) 米子市営淀江スポーツ広場	
施設所管課	教育委員会事務局 体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954番地1
指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (55点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 淀江体育館勤務者が管理
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認 施設利用者数対前年比 97.4% 施設稼働率 97.8%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。 第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認

(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認

II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査

III サービスの安定性の評価 (点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2		総括表に記載
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3		総括表に記載
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4		総括表に記載

【総評 (所管課評価)】 概ね良好な管理内容であり、事業計画に則り管理運営を行っている。	合計点 (49) 点 / (75) 点 $\times 100 = (65.3)$ 平均点 (3.3) 点
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B (良 好) = 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。(3点)

C (課題含) = 協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。(1点)

D (要改善) = 協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。(0点)

※特記事項欄は評価を行った確認方法(例: 立入調査、台帳確認、資料等確認)と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項 目	本年度〔平成27年4 ～9月〕 A	前年度〔平成26年 4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場 合は増減理由を記載
開館日数	183日	183日	±0日、100(%)	
施設利用者数	10,477人	10,753人	-276人 97.4(%)	
施設稼働率= 利用日数/開館 日数	97.8% 179日/183日	100% 183日/183日	-2.2ポイント	
事業開催数	—	—	—	—

※2 事業収支

(1) 収 入

項 目	本年度〔平成27年4 ～9月〕 A	前年度〔平成26年4～ 9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場 合は増減理由を記載
施設使用料	410,440円	446,040円	+35,600円 92(%)	

(2) 支 出 **総括表に記載**

※3 経営状況分析指標 **総括表に記載**

※4 団体等の経営状況(年度毎に実施) **総括表に記載**

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

総括表に添付

(別紙2)

平成27年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表 [平成28年9月]

施設名	(18) 米子市営大和公園運動広場	
施設所管課	教育委員会事務局 体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954番地1
指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (60点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 各施設等巡視が兼務 詰所：本部 運営業務責任者・巡視員・清掃員(2) 計4名
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認 施設利用者数対前年比 46.4% 施設稼働率 60.5%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。 第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。

(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認

II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査

III サービスの安定性の評価 (点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2		総括表に記載
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3		総括表に記載
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4		総括表に記載

【総評 (所管課評価)】 概ね良好な管理内容であり、事業計画に則り管理運営を行っている。	合計点 (49) 点 / (75) 点 × 100 = (65.3) 平均点 (3.3) 点
--	--

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評価は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	167日	183日	-16日、91.2(%)	
施設利用者数	1,300人	2,804人	-1,504人 46.4(%)	実績減
施設稼働率＝ 利用日数／開館 日数	60.5% 101日／167日	64.5% 118日／183日	-4ポイント	
事業開催数	—	—	—	—

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	—	—	—	使用料金の設定なし

(2) 支出 **総括表に記載**

※3 経営状況分析指標 **総括表に記載**

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施） **総括表に記載**

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

総括表に添付

(別紙2)

平成27年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表 [平成28年9月]

施設名	(19) 米子市営東山陸上競技場	
施設所管課	教育委員会事務局 体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954番地1
指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (55点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 東山陸上競技場事務所 所長・管理人(3) 計4人
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認 施設利用者数対前年比 109.3% 施設稼働率 97.3%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。 第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認

II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査

III サービスの安定性の評価 (点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2		総括表に記載
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3		総括表に記載
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4		総括表に記載

【総評 (所管課評価)】 概ね良好な管理内容であり、事業計画に則り管理運営を行っている。	合計点 (49) 点 / (75) 点 $\times 100 = (65.3)$ 平均点 (3.3) 点
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	183日	183日	±0日 100 (%)	
施設利用者数	37,977人	34,735人	+3,242人 109.3 (%)	
施設稼働率＝ 利用日数／開館 日数	97.3% 178日／183日	100% 183日／183日	-2.7ポイント	
事業開催数	—	—	—	—

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	592,069円	225,310円	+336,759円 262.8 (%)	実績増

(2) 支出 **総括表に記載**

※3 経営状況分析指標 **総括表に記載**

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施） **総括表に記載**

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

自主事業なし

6 利用者アンケートの結果

総括表に添付

(別紙2)

平成27年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表 [平成28年9月]

施設名	(20) 米子市宮東山補助グラウンド	
施設所管課	教育委員会事務局 体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954番地1
指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (55点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 東山陸上競技場事務所職員が管理
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認 施設利用者数対前年比 114.8% 施設稼働率 54.1%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。 第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認

II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査

III サービスの安定性の評価 (点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2		総括表に記載
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3		総括表に記載
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4		総括表に記載

【総評 (所管課評価)】 概ね良好な管理内容であり、事業計画に則り管理運営を行っている。	合計点 (49) 点 / (75) 点 $\times 100 = (65.3)$ 平均点 (3.3) 点
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B（良 好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項 目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	183日	183日	±0日 100 (%)	
施設利用者数	11,610人	10,110人	+1,500人 114.8 (%)	
施設稼働率＝ 利用日数／開館 日数	54.1% 99日／183日	29.5% 54日／183日	+24.6ポイント	実績増
事業開催数	—	—	—	—

※2 事業収支

(1) 収 入

項 目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	—	—	—	使用料設定なし

(2) 支 出 **総括表に記載**

※3 経営状況分析指標 **総括表に記載**

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施） **総括表に記載**

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

自主事業なし

6 利用者アンケートの結果

総括表に添付

(別紙2)

平成27年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表 [平成28年9月]

施設名	(21) 米子市宮東山球技場	
施設所管課	教育委員会事務局 体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954番地1
指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (55点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 東山公園管理センター職員が管理 箇所：市民球場
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認 施設利用者数対前年比 100.4% 施設稼働率 32.6%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。 第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認

II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査

III サービスの安定性の評価 (点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2		総括表に記載
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3		総括表に記載
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4		総括表に記載

【総評 (所管課評価)】 概ね良好な管理内容であり、事業計画に則り管理運営を行っている。	合計点 (49) 点 / (75) 点 $\times 100 = (65.3)$ 平均点 (3.3) 点
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	144日	135日	+9日 106.7 (%)	
施設利用者数	3,866人	3,852人	+14人 100.4 (%)	
施設稼働率＝ 利用日数／開館 日数	32.6% 47日／144日	29.6% 40日／135日	+3ポイント	
事業開催数	—	—	—	—

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	388,910円	335,880円	+53,030円 115.8 (%)	

(2) 支出 **総括表に記載**

※3 経営状況分析指標 **総括表に記載**

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施） **総括表に記載**

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

総括表に添付

(別紙2)

平成27年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表 [平成28年9月]

施設名	(22) 米子市民球場	
施設所管課	教育委員会事務局 体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954番地1
指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
選定方法	公 募 ・ 非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (55点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 東山公園管理センター 運営管理業務責任者兼所長 管理人(5) 計6人
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認 施設利用者数対前年比 210.4% 施設稼働率 57.2%
(2)利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。 第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2)清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認

II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査

III サービスの安定性の評価 (点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2		総括表に記載
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3		総括表に記載
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4		総括表に記載

【総評 (所管課評価)】 概ね良好な管理内容であり、事業計画に則り管理運営を行っている。	合計点 (49) 点 / (75) 点 $\times 100 = (65.3)$ 平均点 (3.3) 点
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	173日	183日	-10日 94.5 (%)	
施設利用者数	15,585人	7,407人	+8,178人 210.4 (%)	実績増
施設稼働率＝ 利用日数／開館 日数	57.2% 99日／173日	71.0% 130日／183日	-13.8ポイント	
事業開催数	—	—	—	—

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	3,143,565円	3,883,834円	-740,269円 80.9 (%)	

(2) 支出 **総括表に記載**

※3 経営状況分析指標 **総括表に記載**

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施） **総括表に記載**

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

総括表に添付

(別紙2)

平成27年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表 [平成28年9月]

施設名	(23) 米子市宮東山庭球場	
施設所管課	教育委員会事務局 体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954番地1
指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (60点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 東山公園管理センター職員が管理 詰所：市民球場
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認 施設利用者数対前年比 97.2% 施設稼働率 97.3%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。 第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認

II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査

III サービスの安定性の評価 (点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2		総括表に記載
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3		総括表に記載
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4		総括表に記載

【総評 (所管課評価)】 概ね良好な管理内容であり、事業計画に則り管理運営を行っている。	合計点 (49) 点 / (75) 点 $\times 100 = (65.3)$ 平均点 (3.3) 点
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B（良 好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項 目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	183日	183日	±0日 100 (%)	
施設利用者数	32,430人	33,360人	-930人 97.2 (%)	
施設稼働率＝ 利用日数／開館 日数	97.3% 178日／183日	100% 183日／183日	-2.7ポイント	
事業開催数	—	—	—	—

※2 事業収支

(1) 収 入

項 目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
利用料収入	8,238,600円	3,574,010円	+4,664,590円 230.5 (%)	実績増

(2) 支 出 **総括表に記載**

※3 経営状況分析指標 **総括表に記載**

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施） **総括表に記載**

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

総括表に添付

(別紙2)

平成27年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表 [平成28年9月]

施設名	(24) 米子市営東山スポーツ広場	
施設所管課	教育委員会事務局 体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954番地1
指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (55点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 東山公園管理センター職員が管理
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認 施設利用者数対前年比 121.1% 施設稼働率 97.3%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。 第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認

II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査

III サービスの安定性の評価 (点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2		総括表に記載
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3		総括表に記載
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4		総括表に記載

【総評 (所管課評価)】 概ね良好な管理内容であり、事業計画に則り管理運営を行っている。	合計点 (49) 点 / (75) 点 $\times 100 = (65.3)$ 平均点 (3.3) 点
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	183日	183日	±0日 100 (%)	
施設利用者数	16,906人	13,960人	+2,946人 121.1 (%)	実績増
施設稼働率＝ 利用日数／開館 日数	97.3% 178日／183日	92.9% 170日／183日	+4.4ポイント	
事業開催数	—	—	—	—

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	301,050円	183,600円	+117,450円 164 (%)	

(2) 支出 **総括表に記載**

※3 経営状況分析指標 **総括表に記載**

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施） **総括表に記載**

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

総括表に添付

平成27年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表 [平成28年9月]

施設名	(25) 米子市宮湊山球場	
施設所管課	教育委員会事務局 体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954番地1
指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (60点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 各施設等巡視(屋外体育施設等)が兼務 詰所：本部 運営業務責任者・巡視員・清掃員(2) 計4名
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認 施設利用者数対前年比 211.1% 施設稼働率 66.7%
(2)利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。 第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2)清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。

(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認

II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査

III サービスの安定性の評価 (点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2		総括表に記載
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3		総括表に記載
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4		総括表に記載

【総評 (所管課評価)】 概ね良好な管理内容であり、事業計画に則り管理運営を行っている。	合計点 (49) 点 / (75) 点 $\times 100 = (65.3)$ 平均点 (3.3) 点
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	159日	183日	-24日 86.9 (%)	
施設利用者数	5,591人	2,649人	+2,942人 211.1 (%)	実績増
施設稼働率＝ 利用日数／開館 日数	66.7% 106日／159日	51.9% 95日／183日	+14.8ポイント	
事業開催数	—	—	—	—

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	508,541円	286,690円	+221,851円 177.4 (%)	実績増

(2) 支出 **総括表に記載**

※3 経営状況分析指標 **総括表に記載**

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施） **総括表に記載**

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

総括表に添付

平成27年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表 [平成28年9月]

施設名	(26) 米子市宮湊山庭球場	
施設所管課	教育委員会事務局 体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954番地1
指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (55点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 各施設等巡視が管理 詰所：市民体育館
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認 施設利用者数対前年比 142% 施設稼働率 77.6%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。 第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認

II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査

III サービスの安定性の評価 (点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2		総括表に記載
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3		総括表に記載
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4		総括表に記載

【総評 (所管課評価)】 概ね良好な管理内容であり、事業計画に則り管理運営を行っている。	合計点 (49) 点 / (75) 点 $\times 100 = (65.3)$ 平均点 (3.3) 点
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	183日	183日	±0日 100 (%)	
施設利用者数	3,761人	2,649人	+1,112人 142 (%)	実績増
施設稼働率＝ 利用日数／開館 日数	77.6% 142日／183日	35.0% 64日／183日	+42.6ポイント	実績増
事業開催数	—	—	—	—

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	0円	0円	±0円 100 (%)	個人使用のみで 使用料なし

(2) 支出 **総括表に記載**

※3 経営状況分析指標 **総括表に記載**

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施） **総括表に記載**

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

自主事業なし

(別紙2)

平成27年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表 [平成28年9月]

施設名	(27) 米子市當日野川運動公園	
施設所管課	教育委員会事務局 体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954番地1
指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (55点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 各施設等巡視が管理 詰所：市民体育館
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認 施設利用者数対前年比 85.1% 施設稼働率 56.8%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。 第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認

II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査

III サービスの安定性の評価 (点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2		総括表に記載
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3		総括表に記載
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4		総括表に記載

【総評 (所管課評価)】 概ね良好な管理内容であり、事業計画に則り管理運営を行っている。	合計点 (49) 点 / (75) 点 $\times 100 = (65.3)$ 平均点 (3.3) 点
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B（良 好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況（野球場A～E）

項 目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A－B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	915日	915日	±0日 100 (%)	
施設利用者数	8,080人	12,949人	-4,869人 62.4 (%)	
施設稼働率＝ 利用日数／開館 日数	57.9% 530日／915日	57.9% 530日／915日	±0ポイント	
事業開催数	—	—	—	—

※1 利用状況（サッカー・ラグビー場）

項 目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A－B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	183日	183日	±0日 100 (%)	
施設利用者数	7,373人	6,981人	+392人 105.6 (%)	
施設稼働率＝ 利用日数／開館 日数	80.3% 147日／183日	34.4% 63日／183日	+45.9ポイント	実績増
事業開催数	—	—	—	—

※1 利用状況（少年野球場）

項 目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A－B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	183日	183日	±0日 100 (%)	
施設利用者数	2,704人	1,425人	+1,279人 189.8 (%)	実績増
施設稼働率＝ 利用日数／開館 日数	27.9% 51日／183日	39.9% 73日／183日	-12ポイント	
事業開催数	—	—	—	—

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成27年4 ～9月〕 A	前年度〔平成26年4～ 9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場 合は増減理由を記載
施設使用料	—	—	—	使用料設定なし

(2) 支出 **総括表に記載**

※3 経営状況分析指標 **総括表に記載**

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施） **総括表に記載**

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

総括表に添付

平成27年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表 [平成28年9月]

施設名	(28) 米子市當日野川堰運動広場	
施設所管課	教育委員会事務局 体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954番地1
指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (55点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 各施設等巡視が管理 詰所：市民体育館
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認 施設利用者数対前年比 83.3% 施設稼働率 89.6%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。 第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認

II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査

III サービスの安定性の評価 (点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2		総括表に記載
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3		総括表に記載
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4		総括表に記載

【総評 (所管課評価)】 概ね良好な管理内容であり、事業計画に則り管理運営を行っている。	合計点 (49) 点 / (75) 点 $\times 100 = (65.3)$ 平均点 (3.3) 点
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優 良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	183日	183日	±0日 100 (%)	
施設利用者数	8,264人	9,925人	-1,661人 83.3 (%)	
施設稼働率＝ 利用日数／開館 日数	89.6% 164日／183日	95.6% 175日／183日	-6ポイント	
事業開催数	—	—	—	—

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	—	—	—	使用料設定なし

(2) 支出 **総括表に記載**

※3 経営状況分析指標 **総括表に記載**

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施） **総括表に記載**

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

総括表に添付

(別紙2)

平成27年度上期「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表 [平成28年9月]

施設名	(29) 米子市宮河崎公園スポーツ広場	
施設所管課	教育委員会事務局 体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社 平井工業
	所在地	米子市河岡954番地1
指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (55点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 各施設等巡視が管理 詰所：市民体育館
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1	B	資料確認 施設利用者数対前年比 81.1% 施設稼働率 95.6%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 利用者からの要望については記録し、適切に対応している。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録・保管されていた。 第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認

II サービスの質の評価 (25点)

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	立入調査・資料確認 利用者に快適に使用してもらうため、提案された事業内容に沿って施設運営が行われている。 アンケート調査については後期に実施
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査

III サービスの安定性の評価 (点)

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2		総括表に記載
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3		総括表に記載
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※4		総括表に記載

【総評 (所管課評価)】 概ね良好な管理内容であり、事業計画に則り管理運営を行っている。	合計点 (49) 点 / (75) 点 $\times 100 = (65.3)$ 平均点 (3.3) 点
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(5点)

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	183日	183日	±0日 100 (%)	
施設利用者数	4,006人	4,939人	-933人 81.1 (%)	
施設稼働率＝ 利用日数／開館 日数	95.6% 175日／183日	100% 183日／183日	-4.4ポイント	
事業開催数	—	—	—	—

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成27年4～9月〕 A	前年度〔平成26年4～9月〕 B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	207,480円	267,330円	-59,850 77.6 (%)	

(2) 支出 **総括表に記載**

※3 経営状況分析指標 **総括表に記載**

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施） **総括表に記載**

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

総括表に添付